

## 特別連載

### 第3回

# しゃがむ・しゃがまない

公益財団法人 共用品推進機構  
専務理事  
星川 安之氏



#### ■しゃがむ

辞書をひくと「膝を折って腰を低い位置に落とす」、「かがむ」と出てくるのが「しゃがむ」です。若い頃は難なくできた動作ですが、年齢を重ねてくると困難になってくる人が増えてきます。

飲料の自動販売機は、飲みたいものを選び、お金を投入しボタンを押すと、「がちゃん」という音とともに品物が下に落ちてきます。カバーを開いて飲料を取り出す時に必要な動作が「しゃがむ」です。しゃがむことが困難な人たちにとっては、飲料一本を入手するのも大仕事になってしまいます。もし、お金を投入する時にコインを落としてしまったりしようものなら、もっと大変なことになります。

そんな「しゃがむ」の不便さを解決してくれる自動販売機もあります。コイン投入口が縦の細い穴ではなく、受け皿の形状で、床に落とす心配が減ります。さらに、かがまなくても選んだ飲料が都合よい高さに出てくるタイプもあります。



受皿状のコイン投入口

#### ■靴ペラと「コロコロ」

靴ペラは、英語でシューホーン、最初は動物の角で作られていました。そのためか、短めものが多かったのですが、高齢化社会に突入すると靴ペラも立った姿勢のまま使用できるものが必要となり、60センチ以上ある靴ペラを、試し履き用に置いている靴屋さんも増えました。

他にも長くて便利なのが「コロコロ」です。床や洋服などの埃をロール状になった粘着テープを



長い靴ペラ

転がしながら取るヒット商品です。

開発したのは、株式会社ニトムズ。ある日、粘着テープで洋服の埃をとっている女子社員を見かけた同社開発マンが試作を重ねて誕生したのが「コロコロ」で、1983年発売当時は「粘着カーペットクリーナー」という商品名でした。

徐々にこの便利さが浸透し始めると、お客さんは店員に「あのコロコロするやつありますか?」と問い合わせることを知った同社は、85年に製品名を「コロコロ」に変更、商標登録した結果、さらに普及の加速度が増す結果となりました。

開発のきっかけとなった洋服をはじめ、ソファ、布団、床、天井などの埃とりに今では多くの家庭でなくてはならない存在になっています。

1年間で地球を10周できる分以上の「コロコロ」テープが販売されていますが、そこにはさまざまな工夫が施されています。フローリング用には弱い粘着性のテープを開発して床面にテープが貼り付かないようにする、埃の付いたテープ部分を剥がしやすくする、狭い場所に適した小型なものや、片手で容易に収納できるケースの開発などもその一部です。

長さですが、97センチまで伸ばすことができるタイプがあり、靴ペラと同様にしゃがむことが困難な高齢者も、部屋をコロコロしながら綺麗にすることができるのです。

紹介した製品は、高齢者や障害のある人専用の製品ではありませんが、結果的により多くの人たちが使えるようになっていきます。福祉機器や関連



しゃがまなくとも下のモノが取れるマジックハンド

用品にもしゃがむことをさらに意識して開発されるようになると、さらに需要が増えるものもあるかもしれません。福祉用具のメーカーにおかれては一度、「しゃがまなくても」の視点で、自社製品を確認されてみてはどうでしょうか?



柄の長いコロコロ

次に、製品だけでなく流通の現場でも行われている工夫を紹介します。

#### ■陳列の工夫

コンビニ、スーパーでも棚の下に陳列してある商品を確認・購入するには、しゃがむ動作が必要となります。

背の高い人、低い人など多様な人が一同に集うオリンピック・パラリンピックの選手村の食堂では、コンビニやスーパーと同様に、各種飲料が入った中が見える扉のついた棚が設置されました。通常であれば、一段目は〇〇、二段目は△△というように、段ごとに種類が分かれています。けれども、多様な人の高さやニーズに合わせて、段ごとではなく、列ごとに異なる種類が置かれていました。

いくら良い製品でも、低い位置に陳列されていると、高齢の人たちが購入できないだけでなく、見ることもできません。

流通店舗においても、誰しにもやさしいユニバーサルデザインを施し、しゃがまなくても購入できるということも視野に入れ、再度工夫について考えてみる必要があるのではないでしょうか?

## ●H.C.R. 2022 開催概要

	第49回国際福祉機器展 H.C.R. 2022 (リアル展)	国際福祉機器展 Web2022 (Web展)
主催	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	
後援	厚生労働省、経済産業省、総務省、国土交通省、東京都、海外参加国大使館	
協賛	NHK厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、毎日新聞東京社会事業団、産経新聞厚生文化事業団、日本経済新聞社、東京新聞、東京新聞社会事業団、朝日新聞厚生文化事業団、福祉新聞社、日本赤十字社、福祉医療機構、鉄道弘済会、東京都社会福祉協議会、全国心身障害児福祉財団、長寿社会開発センター、シルバーサービス振興会、テクノエイド協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本アビリティーズ協会、日本障害者リハビリテーション協会、日本リハビリテーション医学会、新エネルギー・産業技術総合開発機構、みずほ教育福祉財団、キリン福祉財団、清水基金、みずほ福祉助成財団、丸紅基金、三菱財団、SOMPO福祉財団、中小企業基盤整備機構 (順不同)	
会期	2022年10月5日(水)・6日(木)・7日(金) 10:00～17:00 (7日(金)のみ16:00まで)	2022年9月5日(月)～11月7日(月)
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東1～8ホール (東京都江東区有明3-11-1)	H.C.R.Web展 特設サイト
来場者(見込み)	10万人	100万PV
出展社数(見込み)	500社(リアル展・Web展双方計)	
入場料/閲覧料	無料(登録制:事前もしくは当日)	

## 福祉機器やH.C.R. 2022の最新情報はこちらから!

#### ◆H.C.R.Webサイト

最新の福祉関連情報を凝縮して掲載しています。さらに、H.C.R. 2021のWeb展を期間限定で一般公開しています。H.C.R. 2021に参加された企業・団体の情報や、約1,000点近くの福祉機器製品検索ができるほか、多彩なWebセミナーの閲覧が可能です。こちらは【3月31日(木)17時】までの公開となっていますので、お見逃しのないようご活用ください! H.C.R. 2022に係る情報も随時更新中!

H.C.R.WebサイトURL <https://hcr.or.jp/>



#### ◆Facebook

H.C.R.関連情報や、福祉関連施策等の情報を発信しています。皆さまの「シェア」や「いいね!」をお待ちしています!

Facebookページ名

一般財団法人保健福祉広報協会

FacebookページURL

<https://www.facebook.com/hcrjpan>

